

令和7年4月28日

奥州市議会政務活動費収支報告書

奥州市議会議長 宛

令和6年度分の政務活動費の収支を次のとおり報告します。

1 議員氏名 門脇 芳裕

2 収入

項目	金額	内訳
政 務 活 動 費	144,000 円	@12,000 円×12 月
自 己 負 担	円	
合 計	144,000 円	

3 支出

項目	金額	内訳
研 究 研 修 費	2,900 円	別紙のとおり
調 査 旅 費	43,031 円	別紙のとおり
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
広 報 費	15,840 円	別紙のとおり
広 聴 費	円	
要請及び陳情活動費	円	
会 議 費	円	
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
合 計	61,771 円	収入支出差引残金 82,229 円を返金する



令和6年度 政務活動費 支出内訳表

議員名	門脇 芳裕
-----	-------

項目	整理番号	金 額	内 訳
1 研究研修費			
	01-01	2,900	市政調査会活動費負担金
	小 計	2,900	
2 調査旅費			
	02-01	43,031	会派行政視察（7/23:㈱東洋ライス、7/24:東京食肉市場㈱、7/25茨城県
	小 計	43,031	
3 資料作成費			
	小 計	0	
4 資料購入費			
	小 計	0	
5 広報費			
	05-01	15,840	「奥和会だよりNo. 11」印刷代
	小 計	15,840	
6 広聴費			
	小 計	0	
7 要請及び陳情活動費			
	小 計	0	
8 会議費			
	小 計	0	
9 人件費			
	小 計	0	
10 事務所費			
	小 計	0	
合 計		61,771	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 01	
			支出整理日	令和 06 年 06 月 28 日	
令和 6 年度	議員名	門脇 芳裕	支出項目	研究研修費	
金額2,900円 使途： 市政調査会活動費負担金					
No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	負担金	R06-06-28	6,000	3,100	2,900
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			6,000	3,100	A 2,900
按分の内容			按分割合		B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 2,900
備考					
領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）					

受 領 書

金 6, 0 0 0 円也

ただし、市政調査会活動費負担金 (@6,000×1人分) として、上記のとおり正に受領いたしました。

令和6年6月28日

門 脇 芳 裕 様

奥州市議会市政調査会

会長 飯坂 一也

返 還 通 知 書

金 3, 1 0 0 円也

ただし、令和6年度市政調査会活動費負担金の返還金として上記のとおり返納いたします。

令和7年3月31日

門 脇 芳 裕 様

奥州市議会市政調査会

会長 飯坂 一也

政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 01
			支出整理日	令和 06 年 07 月 24 日
令和 6 年度	議員名	門脇 芳裕	支出項目	調査旅費

金 額	43,031	円
-----	--------	---

使途： 会派行政視察（7/23:㈱東洋ライス、7/24:東京食肉市場㈱、7/25茨城県石岡市）

No.	支出の明細		支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	JR券代（詳細別紙）		R06-07-03	227,830	56,460	171,370
2	JR券代(経路変更の追加料金)		R06-07-04	13,030		13,030
3	宿泊代金（7/23）		R06-07-23	97,200	10,000	87,200
4	バス借り上げ料（7/24）		R06-07-03	96,800	83,280	13,520
5	バス借り上げ料（7/25）		R06-07-03	96,800	96,800	0
6	宿泊代金（7/24）		R06-07-24	54,400		54,400
7	土産代（視察先2か所分）		R06-07-22	3,434		3,434
8	土産代（視察先1か所分）		R06-07-22	3,412	2,116	1,296
9						0
10						0
合 計				592,906	248,656	A 344,250
按分の内容		8人			按分割合	B 1 / 8
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C	43,031

備考	領収書は、奥和会共通経費整理票02-01に添付

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 06 年 12 月 27 日
令和 6 年度	議員名	門脇 芳裕	支出項目	広報費

金 額	15,840	円
-----	--------	---

使途：「奥和会だよりNo. 11」印刷代

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷代（150部）	R06-12-27	15,840		15,840
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			15,840	0	A 15,840
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 15,840

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

No. _____		領 収 証		印 紙																		
門脇 芳裕		様																				
令和 6 年 12 月 07 日																						
種 別	金 額	摘 要																				
入金 小切手																						
金 約 手																						
内 相 殺																						
訳 振 込																						
消費 税																						
<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">金 額</td> <td style="text-align: center;">千</td> <td style="text-align: center;">百</td> <td style="text-align: center;">拾</td> <td style="text-align: center;">万</td> <td style="text-align: center;">千</td> <td style="text-align: center;">百</td> <td style="text-align: center;">拾</td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>40</td> </tr> </table> 但し 奥和会代行 上記の金額有難く領収致しました あべ印刷株式会社 代表取締役 阿 部 由起聖 〒023-006 岩手県奥州市水沢佐倉戸字東 TEL (0197) 24-8300 FAX (0197) 24-8330 登録番号 T1-4006-0100-0010					金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円					¥	1	5	8	40
金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円														
				¥	1	5	8	40														

この領収証で係印の無いものと並びに金額を訂正してあるものは無効です。

納品書

門脇芳裕 様

毎度お引き立て有り難うございます
下記のとおり納品申し上げます

納品日 06 年 12 月 25 日

伝票No. 003056
PAGE 1



あべ印刷株式会社

代表取締役 阿部 由起男

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東山
TEL (0197) 24-8303 FAX (0197) 24-8304
北上営業所 〒024-0063 岩手県北上市九年橋三丁目1-24-203
TEL (0197) 63-8878 FAX (0197) 24-8330

担当:

[illegible]

登録番号 T1-4006-0100-0010 取引銀行 東北銀行水沢支店(普) 85881・水沢信用金庫東支店(普) 5300

請求書

門脇芳裕 様

毎度お引き立て有り難うございます
下記のとおり御請求申し上げます

請求日 6 年 12 月 25 日

伝票No. 003056
PAGE 1



あべ印刷株式会社

代表取締役 阿部 由起男

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東 ~~1-2-203~~
TEL (0197) 24-8303 FAX (0197) 24-8303
北上営業所 〒024-0063 岩手県北上市九年橋三丁目1-24-203
TEL (0197) 63-8878 FAX (0197) 24-8330

担当:

品名	規格	数量	単位	単価	金額
奥和会だより No.11 (4頁4/4色)	A4	150	部	96	14,400
【合計 課税10.0% 税抜額】					14,400
【合計 課税10.0% 消費税額】					1,440
	税抜額	14,400	消費税額	1,440	合計 15,840

登録番号 T1-4006-0100-0010 取引銀行 東北銀行水沢支店(普) 85881・水沢信用金庫東支店(普) 5300



あ わ か し

No.11

奥和会だより

〔発行責任者〕奥和会会長 藤田 慶則 〔発行日〕令和6年12月27日

基幹産業

奥州市議会会長
藤田 慶則

行政視察等の際、挨拶で奥州市を紹介する時、基幹産業は農業であり、米はひとめぼれ、肉牛は前沢牛、りんごは江刺りんごが有名です。しかし、稲作農家は米価の低迷で、しばらく元気がなく、地域経済も疲弊しております。そんな中、新聞報道によりますと、

言論の府としての議会の役割

奥州市議会 議員
菅原 由和

「奥州市議会基本条例の第二条に「議会が言論の府であること、及び合議制の機関であることを十分に認識し、議員相互の自由な討議を重んじる」と議会の活動原則が謳われています。

これは、議事機関として設置されている地方議会は「熟慮する機関」であり、議員が「腰を据えて、じっくりと話し合う」合議体の組織であることから、最終的な意思決定前には、議員間で十分な議論を尽くさなければならぬということと定めています。特に重要な案件においては、賛成や反対の一方的な討論だけではなく、議員同士が十分に議論を重ねた上で、より良い結論を導き出すこと、そ

令和六年は「平成の米騒動」以来三十一年来ぶり米価高騰といった記事がありました。農家にとってははっと一息の感がありますが、農機具、生産資材等の高騰もあり、令和七年はどのようなものだろうという不透明な部分もあります。奥州市の経済が活性化することが望まれます。

令和七年は議員任期、実質最後の年でもあります。市民の皆様には、個々の議員はもとより、奥和会に對しても、ご指導・ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

そして、結論に至った経過も市民に示す説明責任も我々議会の役割として重要なことであると認識しております。

そこで、我々奥州市議会では、この間、議員間における討議の在り方やルールを定めた「議員間討議のガイドライン」を新たに策定し、議員同士が議論を深める取り組みを進めてきたところであります。しかし、これまで「メーブルの取得」や「新医療センター建設」等の討議をしてきたものの、相互に意見の違いを批評し論じ合っている、結論を導き出すまでには至っておらず、今後の課題であると感じております。

言論の府としての議会の役割をしっかりと果たすことができるよう、最大会派である奥和会の皆様には、その先頭に立って更なる改革を進めて頂きますことをご期待申し上げます。

「一般質問の状況」

二〇二四年に開催された四回の定例会において、奥和会メンバーは次の通り一般質問を行いました。各自所感を述べるとともに、市当局の姿勢等の検証や各種提言をしました。

2月定例会

千葉 和彦議員

●若者のUターン促進について

●スマート農業の取り組みについて

中西 秀俊議員

●鳥獣被害防止対策（電気柵の充実）について

6月定例会

門脇 芳裕議員

●子育て環境について

高橋 善行議員

●市道の維持管理について

小野寺 満議員

●生涯学習活動について

●健康で安心して暮らせるまちづくりについて

高橋 浩議員

●地球温暖化対策・再生可能エネルギー活用推進について

9月定例会

千葉 和彦議員

●汚水処理施設の整備について

中西 秀俊議員

●地域計画について

●釜石自動車道「江刺田瀬IC」付近への休憩スポット設置について

●防災行政無線の時刻チャイム（大滝詠一メロディ）の変更について

12月定例会

門脇 芳裕議員

●農業振興について

中西 秀俊議員

●中山間地域における公共交通について

●生活用水確保施設整備補（井戸掘り）助金について



【空き公共施設】



檀田 史朗
(胆沢副都田出身)

奥州市の人口は合併当初、年齢算出基準日平成十八年四月一日時点で、一三〇、六九六人で、〇歳は九三五人でありましたが、同じく令和六年四月一日時点では、一〇八、九三六人で、〇歳は四二八人でありました。合併して十八年が経ちました。この間人口は、二一、七〇人が減り、毎年約一、二〇〇人が減っている計算になります。生まれてくる子どもは半分となり、ますます少子化が進んでおります。国立社会保障・人口問題研究所がまとめた、日本の地域別将来推計人口(令和五年推計)をみると、奥州市は二〇四〇年には八三、二七三人。二〇五〇年には六九、二七五人と予想されております。奥州市には、令和二年には小学校二七校、中学校九校あったものが、現在では小学校十八校、中学校七校であります。令和六年三月には、胆沢地域では幼稚園二園が閉園いたしました。

地域で話し合いを重ね、空き公共施設・教育施設を活用して、活性化を図っている地域もあります。また、企業が活用するケースもあるようです。話し合いの結果、解体を望んでいる地域もあります。いずれ、活用もされず解体もされない建物が長期間放置されていることは、地域の疲弊につながる気がしてなりません。

【奥州市の明るい未来への期待】



檀田 史朗
(江刺市出身)

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまは、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年多くの困難や挑戦の中で共に歩み、支え合いながら過ごしてきたことに深く感謝するとともに、今年も皆さまと共に一層の前進を期して行けることを心から願っております。

これからの時代、地域の発展には変革が求められます。私たちは、持続可能な社会の実現や社会福祉、教育・経済の各分野において一層の努力を重ねる必要があります。その中で、特に重要なのは、次世代を担う子どもへの育成です。子どもたちが夢を持ち、希望を抱いて成長できる社会こそが、私たちの望む未来につながるかと確信しています。

また、地域の魅力を再発見し、観光や地元産業の活性化を図ることも私たちの大きな課題です。奥州市には豊かな自然、歴史的な資源、農業に携わる温かい人々を始め多くの人が暮らしています。

この地域ならではの魅力を最大限に活かして、外部からの関心を引き寄せ、次世代への豊かな遺産を残すことができると思っています。未

【「新医療センターは、早期に建設を」】



檀田 史朗
(水沢橋本出身)

総合水沢病院の建て替えに関する協議が始まってから、もう十年以上が経過しています。一部市民の方には、新医療センター建設費の九十六億円(そのうち新病院建設費は約七十六億円)は高いとか、もともと、市民・県・関係団体の意見を聞き、合意を経たうえで整備すべきという意見があります。それでいいのでしょうか？人口が毎年減少している中、二十年后、三十年後の奥州市の税収では、新病院の建て替えは不可能です。人口の減少に伴い患者数も減少することから、市内に五つある病院、診療所も集約しなければ、奥州市の財政では市立病院を維持できません。五つの病院・診療所を集約した場合、その中心的役割をはたすが、今回建

設を進めている「新医療センター」ではないでしょうか。そのような理由から、早期に「新医療センター」を建設すべきと考えます。更には、市立病院等の集約を進め、市の財政負担の軽減を図るべきではないかと考えます。今の総合水沢病院は耐震化がなされていないので、大きな地震が今度来たらどうなるかわかりません。建設にご理解のほど、よろしくお願いいたします。



教育厚生常任委員会行政視察 長野県庁前にて

【二期三年を迎え】



高橋 浩
(柳井手出身)

昨年の会報では、二期目での近況をご報告しましたが、今回は後半の近況や会派の様子をご報告いたします。

議会には、四つの委員会が有り、市政事務事業の執行状況や効果等について二年任期で、所管事務調査を行って居ます。私は今回、総務常任委員会です。私は今回、総務常任委員会で全ての委員会を経験します。他の委員会に比べ総務の所管範囲は最も多く、総務に関わる諸願・陳情が多い事は、委員長に就任して改めて知りました。

任期前半で一期目とは違う役割の変化に気付く、後半は委員長として政策提言に向けた調査等を行って居ます。他にも議会運営委員会として、議会運営や議会基本条例の検証作業等、忙しくしておりますが、能力不足を痛感する日々に、事務局にいつも迷惑をかけ、助けられて居ます。

その様な中で感じる事は、この年齢や、その立場になって、初めて見える景色や感じ方がある事に気付きました。議員活動だけでなく、他の活動の中でも多くの皆様と接する機会が沢山あり、その中で新たな感じ方、見方、考え方を発見した時は、感慨深いものがあります。

会派では市政の諸課題を話す時、意見が一致する事もあれば、違うことともあります。意見の違いは、違う意見に耳を傾けると、各議員の見方・考え方が見えて来ます。新たな発見をする事も少なくありません。奥和会は、最大会派であり、会派として意見統一を目指すものの、個々の意見や考えも尊重し、奥和会の懐の深さを示しつつ、今後各種諸課題の解決に団結して取り組んで参ります。

『市勢の発展にむけて』

千葉 和彦
(大谷町出身)

令和六年は、奥州市出身のメジャーリーガー大谷翔平選手の二年連続のMVP受賞等、その大活躍は市民にとつても嬉しいニュースとなり、また勇気づけられました。一方で世界情勢の緊迫による物価上昇が引き続き市民生活に大きな影響を与えていることになった一年となりました。さて、私も議員の任期も残すところ約一年となりました。私は現在、産業経済常任委員会の委員長を拝命しており、商工業及び農業問題に真摯に向き合つて活動しております。現在の奥州市は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に歯止めがかかっておらず、この問題解決に向けた施策に丁寧に取り組んでいかなければならない状況にあります。そのような中、現在市では「中心市街地活性化計画」の改定に向けた取り組みを進めており、私も産業経済常任委員会も、新たな中心市街地活性化の創造に向け今年一年間様々な活動してまいりました。残す任期は少なくなりましたが、市民皆様のご意見を伺いながら新たな中心市街地活性化政策について提言を実現できるよう活動を充実していきたいと考えております。

行方など丁寧に向き合い、まじめに取り組んでいきたいと思っております。

「ごみ有料化を考える」
本年四月から建設環境常任委員会所属となり、過日、ごみ有料化の先進地である東京都武蔵野市を行政視察してきました。

国は、ごみの減量と適正な処理の方策として「ごみ処理有料化」を推奨しており、全国の自治体でもその取組みが進められています。

岩手県内では令和五年度末で有料化を実施しているのは北上市だけですが、奥州市でも導入に向けた検討が行われています。

武蔵野市では、市民がスーパー等で購入している有料指定ごみ袋一袋当たり二円の処理手数料を徴収しています。仮に武蔵野市と同額の手数料とした場合、我が家では週二回二〇リットの袋を使ってごみを排出しているの、一回当たり四〇円、年間五二週では四、一六〇円を支払うこととなります。この金額が高いか、安いか、人それぞれで考えは違うとは思いますが、3R(リデュース・リサイクル)を実践し、家庭から出るごみを減らす努力をしている人にとそうでない人々とで負担する金額が変わってくる仕組みは必要ではないでしょうか。武蔵野市では、有料化実施によって市全体としてごみの減量化に成功しただけでなく、市民の意識改革、まちの美化等の相乗

東 隆司
(大谷町出身)高橋 善行
(胆沢小山出身)

『議場トナール(TONARU)』

今から三十五年ほど前、地元の青年会に入っていました。当時の青年会活動はとても活発で胆沢地区でも多くの若者たちが青年団に入っていました。地域の組織のほかにも上部組織として岩手県青年団体協議会があり、その活動の一環として隔年で岩手県青年議会があり、私も参加したことがありました。

三ヶ月ほどかけて十数回に渡る質問内容、答弁要旨、及び注意事項等の事前打ち合わせを経ていよいよ県議会議事堂を会場に開会されることとなりました。ところが、青年議会開催間近になって県議会から待ったがかかりました。理由はこうでした。「神聖なる議場を青年団に貸すわけにはいかない」

私は烈火の如く怒りたまへた。青年議会をボイコットするとは言っていない。私達は私で活動した。自分たちの活動を低俗なもの、不浄なものと言われたような気がして怒りが鎮まりませんでした。結局、そ

門脇 芳裕
(胆沢小山出身)

『初心を忘れず一歩前へ』

議員活動も三年程が過ぎ、残る任期は約一年となりました。

今年一年は、昨年同様に「農業問題」と「子育て問題」を中心とした活動に、地域の安全にも積極的に取り組んでまいりました。

初めに各地域や団体へ出向いた内容として、畑地化を目的とした圃場へ、JA岩手ふるさと経営管理員等と現地視察をしました。

また地域の有志で運営される花壇管理をされる皆さんからは、高齢化に伴う今後の継続等への思いを頂き、今後の活動の参考にさせて頂きました。

次に委員会活動では、「新医療センター」建替え問題、産前産後ケア等の

問題を検討しています。

一般質問は三項目を伺いました。

一、「子育て環境」については、幼児施設全般で問題とされる保育士と幼稚園教諭不足等の解決に向けた取り組み、また新設された「八私連携幼保連携型認定こども園」の要望に対し、早急な対応をして頂きました。

二、「市有地樹木管理」については、安全保持を目的として、胆沢総合体育館周辺の電線に架かる樹木の剪定要望をし、検討後に対応して頂きました。

三、「農業振興」については、先に述べました畑地化に関し、市の団地化の面積要件改善を要望し、緩和を検討するとの答弁を頂きました。

更には作業効率の向上に向けた取り組みへの問題として、自動操舵の利用拡大と水稲作業における田植え作業軽減を目的とした直播の普及への支援に関する問題を提起しました。他にも項目に沿った各種の質問や提案の中で、市の対応として感じる事は、市民のために今できる事への柔軟な対応に心がけていることが伝わってきます。

最後に多くの地方行政が抱える人口減少問題に関し、市長から「明るく元気で未来志向へ」に向けた取り組みをすれば人は集まる」とのお話をお聞きしました。現状を理解し「難しい事を簡単に、簡単な事を楽しく」に向け、皆さんのご意見を参考に、次の世代へのバトンを上手に渡せるよう活動して行きたいと思っております。

東洋ライス 株式会社



金芽米を含む精米工程ラインを見学し、昼食も金芽米を含む精米したてのご飯を美味しくいただきました。説明して頂いた東洋ライスの皆さんのコメに対する愛情、情熱が伝わってきました。

東京都中央卸売市場食肉市場



前沢牛が上場されるというのでどれぐらいの高値がつくのか興味津々でした。銘柄統一され出荷頭数が増えることにより今後の更なる発展に期待するものです。

いわて銀河プラザ



岩手県のモノを売ると言うよりもイメージを宣伝するところと感じました。奥州市出身の野球選手のポスターが無いのは残念でしたが、銀座の一等地にあって多くの人が訪れていました。

茨城県石岡市



ドローンを使ったまちづくりについて視察研修しました。市職員が「ピースブルー」というドローンチームをつくり、オリジナルの動画作成など市の広報活動を積極的に進めていました。



会派視察報告

奥和会では、去る七月二十三日から二十五日にかけて「東洋ライス株式会社」「東京都中央卸売市場食肉市場」「岩手銀河プラザ」そして、茨城県石岡市を視察してきました。

編集後記

一年間の世相を一字で表す漢字は「金」でした。皆さんの予想は当たりましたか？私の予想は「震」で残念ながら外れてしまいました。オリンピックのある年では三年ぶり五回目で政治とカネ、裏金問題、金目当ての間バイトなどがあり当然だとも思えました。さて、令和七年の漢字は何になるのでしょうか？「朗」や「希」など明るい漢字になる事を願ってやみません。今後も奥和会をよろしく願っています。



会 計 局	監 事	事務局長	幹事	副会長	副会長	副会長	会長
門脇芳裕	高橋善行	東葉隆司	千葉和彦	高橋浩	小野満	中野俊	藤田慶則

奥和会メンバー